

高石市議会議員 山敷めぐみ 議員活動報告 ～子どもの幸せが広がるまちへ～

めぐみ通信

Vol. 14

2014(H26)年7月



【政務活動費】について

※昨年度までは「政務調査費」という名称でしたが、法律改正され今年度より「政務活動費」となっています。

目次

- P.2 羽衣駅前ビルについて／議員定数削減
- P.3 知的障害者医療助成／羽衣保育所裁判
- P.4 南海トラフ地震に備える

高石市では議員報酬（52万円/月）以外にも政務活動費という名目で月に36,000円が支給されています。これは文字通り「政務活動」に使用するもので、毎年詳細な報告が求められます。

先ごろ、兵庫県議会議員の政務活動費の使途がマスコミを賑わしていましたが、兵庫県議会は議員報酬（93万円/月・大阪府も同額）以外に月に50万円の政務活動費が支給されています。ちなみに大阪府議会は会派に所属している議員には月に59万円が支給されます。

高石市においては、情報公開請求の手続きをして頂けたら、すべての議員の政務活動費の報告書や領収書の閲覧、またはコピーの入手（実費）が可能です。ご自身でチェックしてみたいと思われる方は市役所までお問い合わせ頂くか、山敷までご連絡ください。

（ちなみに平成25年度の山敷の政務調査費収支報告書の収入額は432,000円、支出額は781,910円でした。すべてに領収書を添付して提出しています。私の分だけで宜しければ、事務所までお越しくださいればいつでも見て頂けます。お気軽にご連絡下さい。）

もっと情報の公開を！

全国784市中、高石市は748位！



政務活動費を使って公開請求しても結果がこれでは意味がありません…。

左の黒塗りの書類を見てください。これでは何も分かりません。これは羽衣駅前のバスターミナル移転計画の調査結果について、山敷が政務活動費を使って情報公開請求をして出てきたものですが、21ページ中17ページがこのような黒塗りの状態でした（この件に関しては異議申し立てを行っています）。

日経グローバル誌2014年2月3日号によると、回答を得られた全国784市区の「経営革新度」の調査結果で高石市は大阪府内33市の中で最下位、全国でも748位という恥ずべき数値でした。

（2ページに続く…）

高石市の“偏差値”は35.06。全国トップの神奈川県厚木市は82.12。大阪府トップの吹田市は65.50。高石市に対するあまりにも低すぎる評価に愕然としました。※「経営革新度」とは「透明度」や「効率化・活性化度」「市民参加度」などを日本経済新聞社が総合的に評価したものです。

そもそも高石市民の税金を使って得た調査結果などの情報は市民も当然共有すべきなのに、その基本的なことが出来ていないことが低い評価に繋がっているのだと思います。評価がトップクラスの市では、市民協働の動きが活発で市民参加度が強まったことが大きく評価されています。

高石市も、もっと市民に情報を公開し、市の課題を共に考える姿勢を持って頂きたいです。

羽衣駅前再開発ビル事業計画、縦覧（計画書の公開）始まる！

羽衣駅東側の再開発ビルの計画案が、7月25日から8月7日まで市役所駅周辺整備課で縦覧に供されています。当該地区の権利者は勿論のこと、地区の周辺（隣接地区）の権利者の方も大阪府に意見提出できます（詳細は市役所265-1001にお問い合わせ下さい）。事業施行期間は認可公告の日から平成30年9月30日までとされています。あくまでも“計画”なので、決定ではありません。

現在の計画では、1、2階が店舗、4～25階に1LDK23戸、2LDK22戸、3LDK68戸、4LDK20戸の計133戸の分譲マンションが高さ約81mで建築されることとなっています。駐車場は機械式で92台分ということです。また南海羽衣駅とJR東羽衣駅を接続する歩行者デッキも計画されています。

議員定数の削減

議員にならせて頂きまもなく4年が経過しようとしています。任期終了も間近となり、少しでも議会改革にも取り組みたい、とクリア高石としては前回の議会で「議員報酬の削減」条例案を提案しました。しかし、他の会派から「議員定数2名削減」の条例案も提案され、いずれの案も継続審議となっていました。

今回の6月議会が始まるまでに議会運営委員会などで様々に意見を交わし、議員報酬の削減に関しては報酬審議会で諮るよう市長に求めること、議員定数の削減に関しては1名削減とすることで全会派が合意し、議員定数を現行の**17人から16人に削減**する条例案が全会一致で可決されました。来春の高石市議会議員選挙から適用されます。

議員は報酬をもらい過ぎている、議員の数は多すぎる、というご批判を良く伺います。なぜ、そのようなご批判を頂くのか、私たち議員は良く考える必要があります。報酬に見合った仕事をしていない、と見られている面もあるのかも知れません。市民の皆様、議員の仕事の内容＝どのようにして行政のチェック機関また政策提案機関としての役割を果たしているかをしっかりとお伝えし、市民の皆様は行政運営にも、議員の仕事にも関心をお持ちいただけるような取り組みをしなければならぬ、と私は考えています。

知的障害者医療助成の拡充、決定！

知的障害者医療助成は平成16年に他の医療助成と共に大幅にカットされていました。平成16年9月24日の福祉土木委員会において、阪口市長は答弁で「(財政が健全化したら再整備は考えるが)この緊急の3カ年、(中略)まさに命がけで健全化に頑張らせて頂くのでご理解頂きたい」と言っていたにも関わらず、3年どころか10年間放置されたままでした。

そこで、この6月議会で共産党さんが本医療助成を元に戻す内容の条例案を用意され、議会運営委員会や代表者会議で各会派に賛同を求められたので、クリア高石としても賛意を表明していました。他の会派からも賛意が表明されていたようです。

しかし、この条例案が議員提案で出されようとするまさにその日、市長からの追加議案として同じ内容の条例案が議長に示されたのです(全く同じではなく、市長提案は施行日が半年遅くなっていました)。

どのような経緯があったのかは不明ですが、何よりも目的は医療助成の拡充ですので、私は市長提案の条例案に賛成し、全会一致で知的障害者医療助成が現在の重度の方のみを対象とする内容から、中度・軽度の方までを対象とするという内容に拡充されることが決定されました。

羽衣保育所裁判、継続中！

めぐみ通信 Vol. 13 にも書きましたが、ここ数年、子ども達の施設の廃止や民営化が続いています。

平成21年4月 高石市立高石保育所廃止・民営化

平成23年4月 高石市立取石保育所と取石幼稚園廃止・民営化(認定こども園)

平成24年4月 高石市立高石幼稚園廃園

平成25年4月 高石市立加茂保育所廃止・民営化

平成26年4月 高石市立羽衣幼稚園廃園／高石市立羽衣保育所廃止・民営化



そのうちの羽衣保育所の保護者の方々が市を相手取り裁判を提起しています。提訴の理由のひとつは、余りにも説明不足の一方的なやり方に納得できない、というものです。耐震化をするには民営化するしかない、という市の説明に対し、保護者の方々は「民営化しなくても費用対効果の面でも有効な手段がある」ということを調査の上で市との話し合いを求められたにも関わらず、市は立ち止まることはしませんでした。今後の裁判の行方に注目しています。

子どもの歓声や笑顔のない旧高石幼稚園や旧羽衣幼稚園の園舎や園庭を見るたび、高石市の子ども施策の貧しさが悲しく感じられます。

南海トラフ地震に備える！**大阪府石油コンビナート等
防災計画（修正）の概要**

平成26年3月

（本年3月25日に発表された21ページの概要のうちの高石市に関連する1ページです）→

4 計画修正のポイント**■ 堺泉北臨海地区の想定災害**

- 長周期地震動により大型の危険物タンクで、スロッシング（液面揺動）により油類が**最大1.2万kL**流出するおそれ
- 津波浸水深が**最大約2m**
- 津波により小型の危険物タンクが移動し、油類が**最大0.5万kL**流出するおそれ
- 流出した油類が着火した場合、陸上・海上火災等の災害発生の可能性
- 短周期地震動により高圧ガスタンクや棧橋等で火災・爆発・毒性拡散、毒劇物液体タンクで毒性ガス拡散のおそれがあり、爆発等の影響が一般地域に及ぶ可能性
- 短周期地震動により危険物タンク等で流出火災の可能性

南海トラフ地震は今後30年間に70%の確率で起こるとされています。現在、大阪府防災会議に「南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会（部会長：河田恵昭関西大学教授）」が設置され、上記の防災計画（修正版）が今年3月に発表されました。石油コンビナートは「特別防災区域」とされ、防災の管轄は大阪府となります。しかし、ひとたび災害が起きると被害を受けるのは高石市民です。

現在、私は「津波火災」を一番心配しています。油類の流出が懸念される中、津波に乗って内陸部も延焼する可能性は0ではないと思っています。実際に大阪府石油コンビナート等防災本部に設置されている「地震・津波被害想定等検討部会（部会長：室崎益輝神戸大学名誉教授）」では臨海部から市街地への火災延焼の危険性も検討されています。この部会は現在も継続して行われていますので、どのような結論になるのかに注目しなければなりません。

地震の揺れがあってから津波が到達するまでは、高石市では約100分と言われています。時間は確保されているので、火災のことを考えると津波避難ビルに逃げる垂直避難よりは水平避難、つまり東の方に向かって逃げるのが大切です。地震の揺れで建物の倒壊などによる道路の通行障害の発生が予測されますので、できるだけ広い道、建物や塀が道路に近接していない道を選んで避難できるよう、日ごろから心掛けておく必要があります。また、現状では自治会加入世帯にしか配布されていない「津波ハザードマップ」を一刻も早く高石市内全戸に配布することも急務です。

クリア高石 第12回議会報告会 を行います。**2014年8月9日（土）****◆午後2時～パンセ羽衣3階（羽衣公民館）****◆午後7時～とろしプラザ（取石公民館）**

発行：山敷めぐみ

事務所：高石市羽衣5-14-13

072-262-3979

yam4-meg3@ezweb.ne.jp

WEB サイトもご覧ください

<http://yamashikimegumi.com/>